



住みやすい町を目指して… ④

「観光の町松田」に向けたアプローチ

(一社)松田町観光協会 会長 秋田谷 光彦さん(神山在住)

菜の花と私

私が西平畑公園の河津桜の下に菜の花を咲かせ始めたのは、平成15年ごろと記憶して居ります。当時私は飲食店組合の役員をして居りました。弁当を扱う店舗から「さくら祭りでお弁当を売りたい」との申し出があり、5、6店舗お弁当を飲食店組合で販売する事となりました。

ところが桜の開花の時期が毎年不定期、当時はテレビ放映による桜の開花状況というのも無く、又さくら祭りの日程が早く設定されていた事もあり、桜が開花しないまま、お祭りが開催されお客様がすぐに来園されて不評を頂くということがありました。さくら祭りの関係者や行政にも

「1週間遅らせては？」と提案しましたが、聞き入れてもらえませんでした。

それでは「桜の下に菜の花でも咲かせてお客様をもてなしては！」と私が提案し飲食店組合の事業として始めました。組合事業としては4年で終止符を打つことになりましたが、それ以来私個人で続けて来ました。6年前から協力者と2人で現在も菜の花を咲かせて居ります。私も73歳を越してだいぶ高齢となりました。20年目の節目で75歳までは頑張ればと考えて居ります。



菜の花植栽の礎は飲食店組合事業

新しい観光資源について

私は現在観光協会会長を担当させて頂いて居りますが、西平畑公園の河津桜だけでなく四季に対応できる新たな観光資源を開発したいと考えて居ります。松田山の南斜面の出来れば西平畑公園近くの営農を止めた農地を借り受けて、

植木や花などの名所を目指して活動を始めている所です。商工業の衰退と町民の減少の中、「観光の町松田」を視野に入れ協会会員と20人の理事と共に活動していく所存でございます。

観光協会からのお願い

近ごろ協会長や理事たちが良い思いをしているとの囁きが聞こえる事があります。協会長や理事たちは一切の報酬

は受けることなく、完全なボランティアにて観光協会を運営して居ります。ご理解頂きますようお願い申し上げます。

「観光の町松田」に向けた新たなアプローチ

結びとなりますが、現在松田山の南斜面のかなり広い畑をお借り出来る予定で計画を立てる考えて居ります。植物の種類などの方向性やご助言を観光協会におよせ下されば幸いです。是非お待ちしております。

※「住みやすい町を目指して」活動されている方や団体が、このコーナーに掲載を希望される場合は下記までご連絡ください。

**第1回定例会は3月2日(火)開会 新型コロナウイルス対策のため
傍聴は10席となっております。発熱等症状がおありの方はご遠慮ください。**

議会広報広聴常任委員会
委員長 南雲まさ子
副委員長 唐澤 一代
委員 古谷 星工人
委員 飯田 実
委員 大館 秀孝

(大館)
年が明け丑年のこの一年は脱兎のごとく進めてきた多くの施策に対し議会として、牛歩のごとく一つ一つ正確無比な監視をしてまいります。それでは、本年もよろしくお願いたします。

昨年は、風水害や新型コロナウイルス対策など迅速な対応が求められる一年となりました。被災・罹患された方々に心からお見舞いを申し上げます。
12月定例会では、終息の兆しがみえない感染症拡大による住民生活への影響を考慮し、令和3年6月に支給する議員期末手当を2割カットする条例改正を議員提案により行いました。

